



平成25年12月期 第2四半期
決算説明資料
(2013年度)

2013年8月6日

昭和シェル石油株式会社

注意事項

この資料には、当社グループ(当社及び連結子会社)の将来についての計画や戦略、業績に関する予想、見通しの記述が含まれています。

これらの記述は、本資料の発表日現在における情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、経済情勢や市場動向、並びに為替レートの変動等の要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性がありますので、予めご了承下さい。

業績概要（2013年1-6月）

	1-6月 2012	1-6月 2013
	億円	
石油事業営業利益（CCS*ベース）	74	174
エネルギーソリューション事業営業利益	-120	48
CCS*ベース営業利益	-45	222
経常利益	-125	439
CCS*ベース経常利益	-62	229
四半期純利益	-125	300
1株当たり四半期純利益（円）	-33.4	79.7
営業活動によるキャッシュ・フロー	-38	456

（注）「その他」および「調整額」は石油事業に含む

* CCS: Current Cost of Supply（在庫評価の影響を除いたもの）

2013年1-6月 決算

- CCSベース経常利益は年初計画190億円を上回り229億円
- エネルギーソリューション事業営業利益は6四半期連続で改善
- 営業キャッシュフローは約490億円の大幅改善

石油事業ハイライト

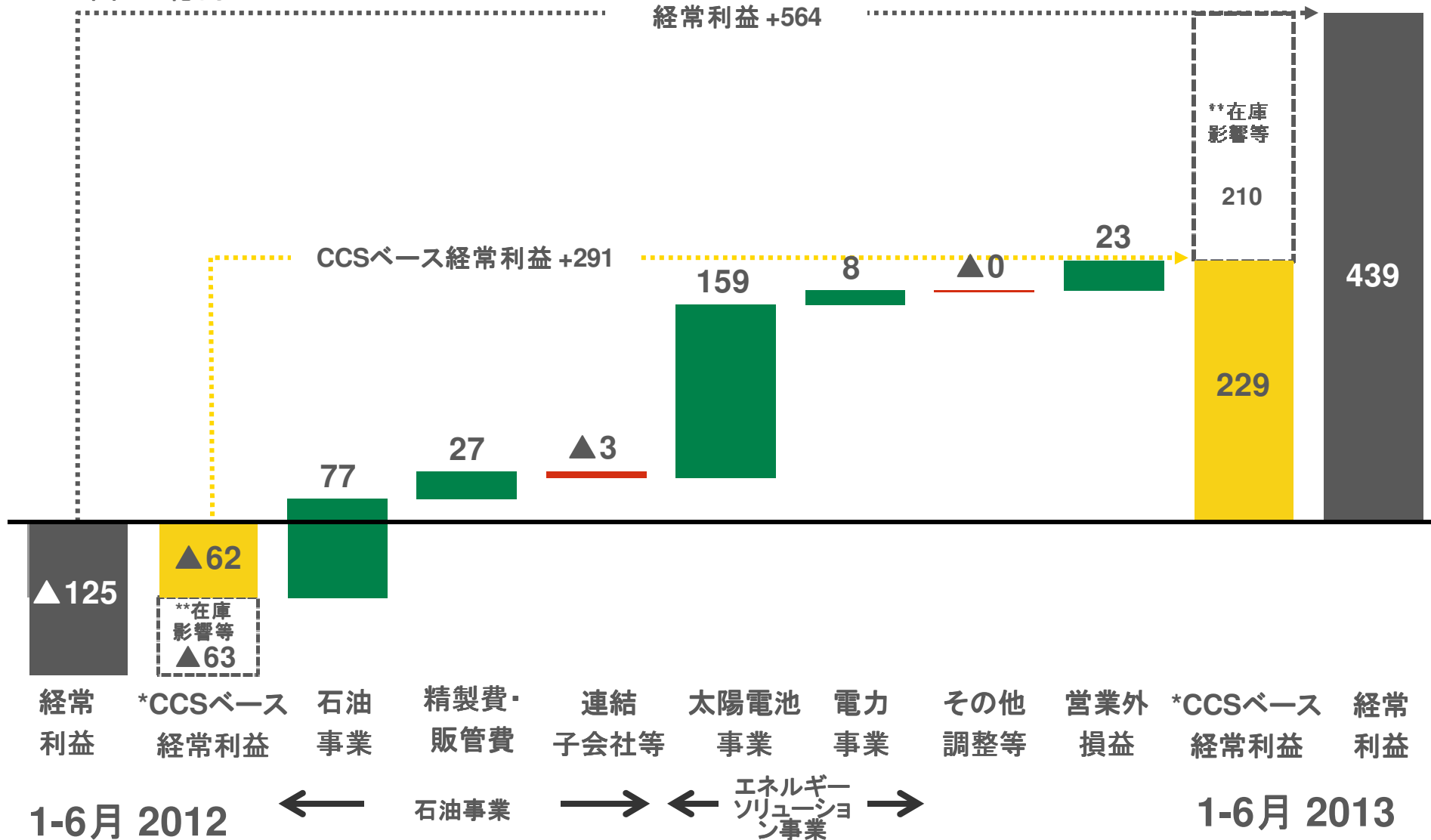
- 営業利益は第2四半期、上半期ともに前年同期比で改善
- 化成品生産の最大化を継続することで第2四半期の国内燃料油マージン低下による収益減をカバー
- 6~7月に実施した四日市製油所の定期修理はトラブルなく計画通り完了

エネルギーソリューション事業ハイライト

- 3四半期連続で営業利益は黒字化
- 第1四半期には太陽光パネル出荷量で世界ランキングトップ10入り（IHS社調べ）
- 旗艦工場である国富工場はフル稼働を維持、第2四半期には計画より早期に定期点検を完了
- パネル一枚当たりの出力も継続的に向上し、W当たり生産コスト削減は年間▲20%の計画に沿って進捗

前年同期比 要因分析(経常利益)

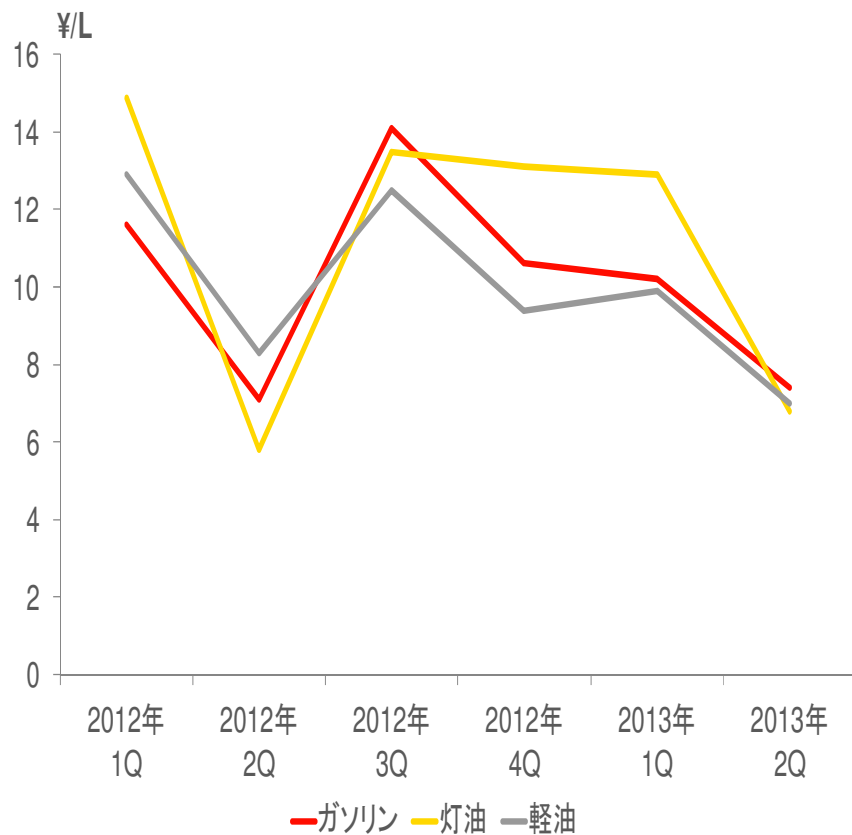
単位：億円



* CCS: Current Cost of Supply (在庫評価の影響を除いたもの)
 ** 「在庫影響等」には、たな卸資産の簿価切下げによる影響を含む。

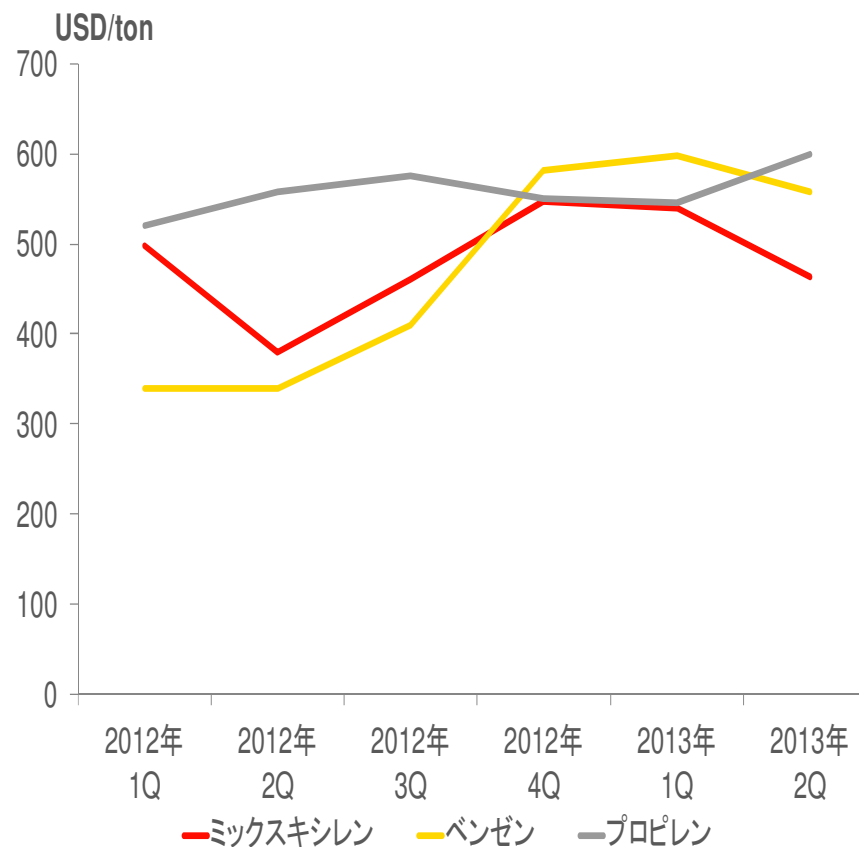
事業環境－石油事業

国内石油製品マージン



※ 国内スポット価格－原油通関CIF

アジア極東地域 化成品マージン



※ スポット製品価格－ドバイ原油スポット価格

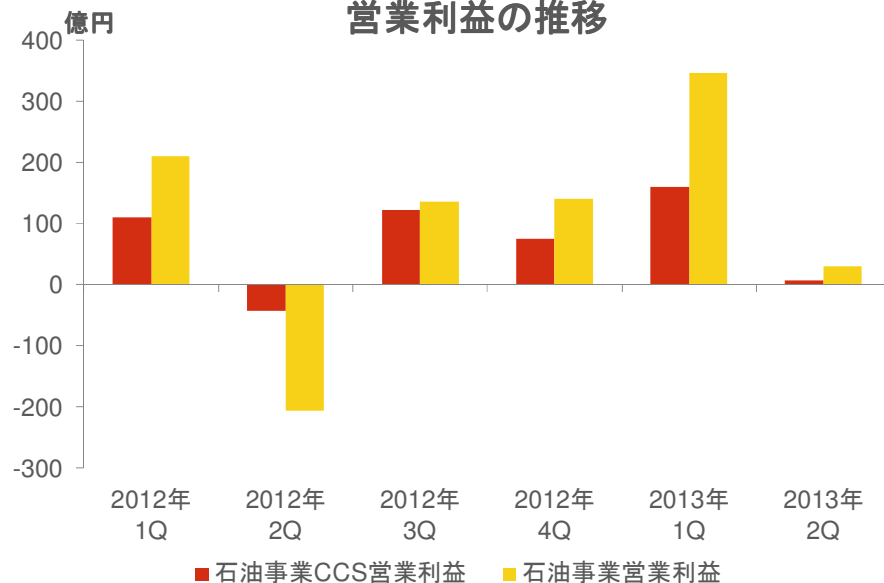
- 第2四半期の国内燃料油マージンは低位推移するも、収益性の高いキシレンやベンゼンなどの化成品の生産・販売最大化を継続することによって収益増を図った

2013年1-6月 業績概要



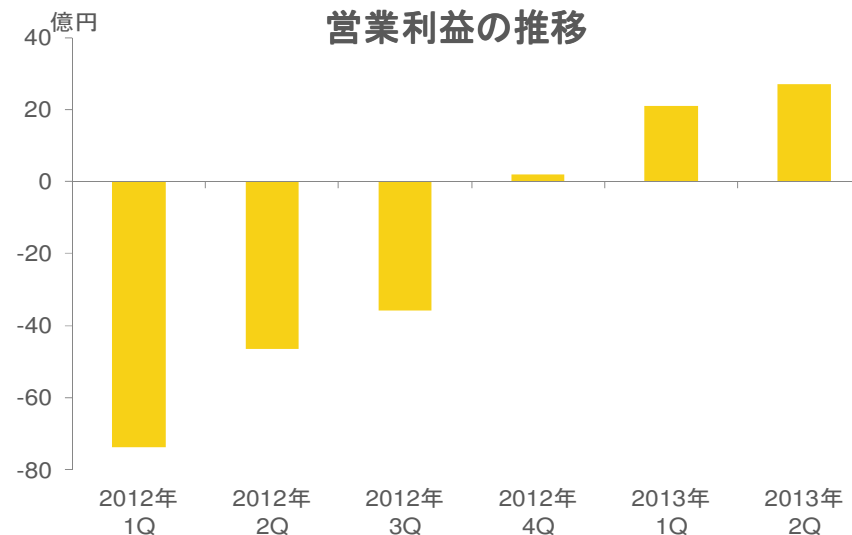
石油事業

営業利益の推移



エネルギーソリューション事業

営業利益の推移

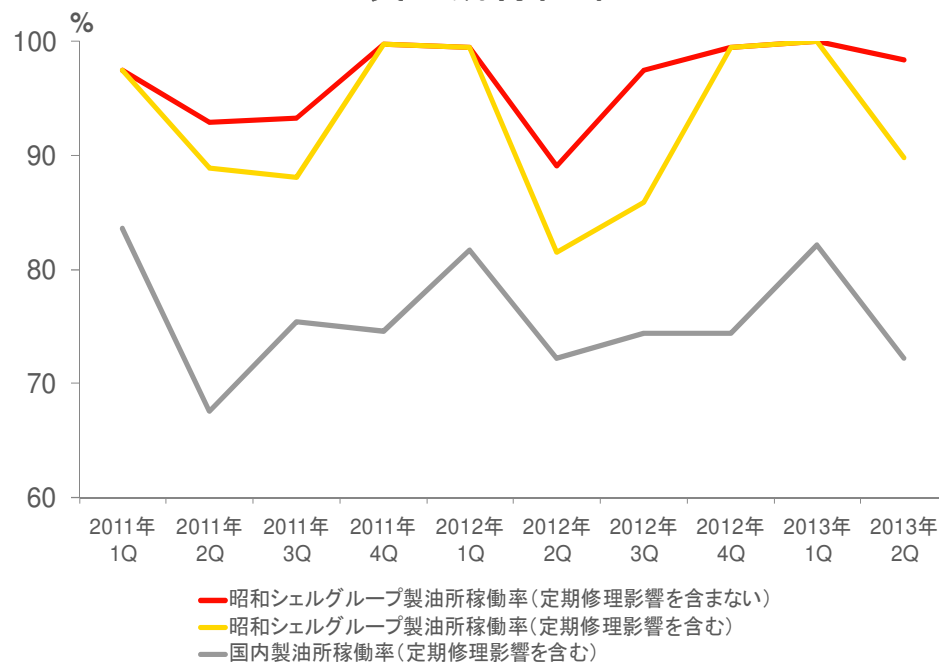


- 第2四半期は燃料油マージンの低迷により収益は前四半期対比で減少したが、石化事業収益が全体の収益に貢献し、同四半期CCSベース営業利益は黒字を維持
- 第2四半期は原油価格が下落した一方で円安が進行し、在庫影響額は第1四半期に引き続き利益押し上げ要因

- 3四半期連続で営業黒字を確保
- 電力事業はGENEXおよび扇島パワーの安定した操業により収益は堅調に推移
- 太陽電池事業は日本市場への販売強化および国富工場のフル稼働等により収益基盤の強化が進行中

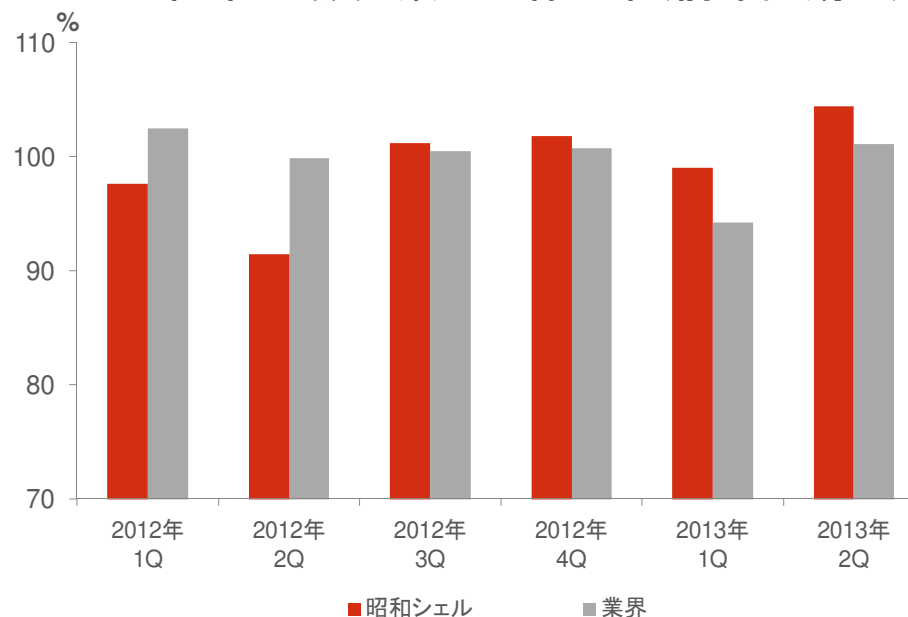
事業概況 2013年1-6月－石油事業

製油所稼働率



出典：石油連盟

4油種*国内販売数量の伸び率(前年同期比)



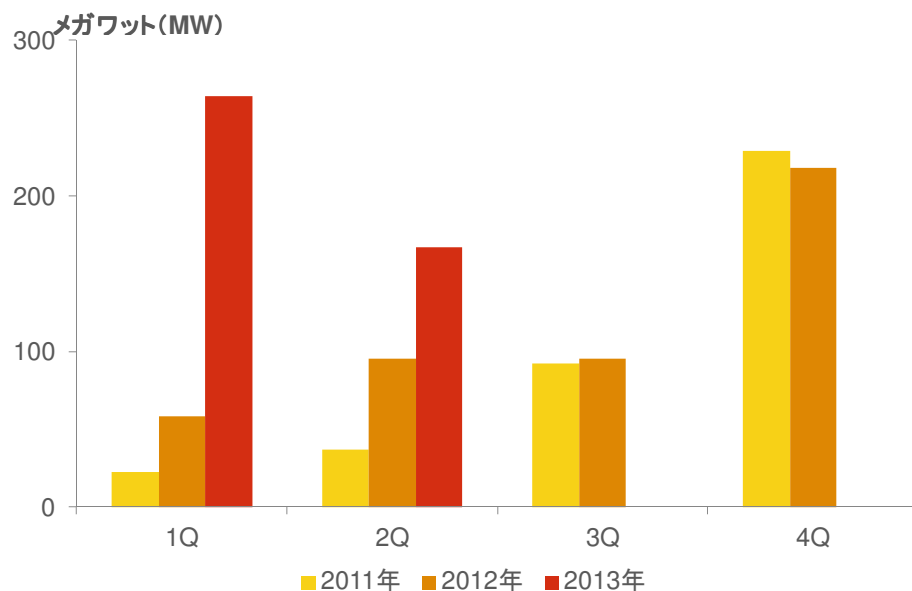
*4油種： ガソリン、灯油、軽油、A重油

出典： 経済産業省「資源・エネルギー統計」

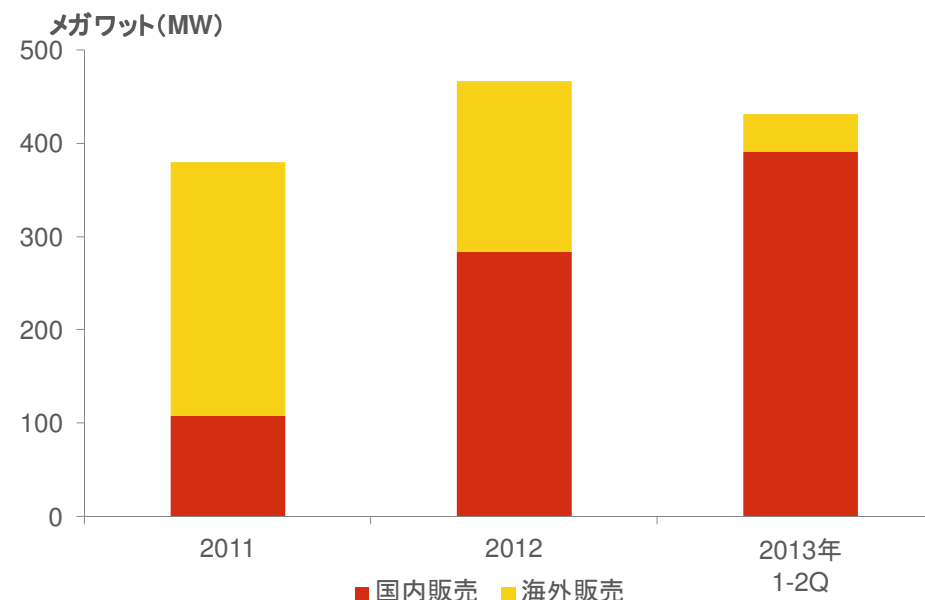
- グループ製油所は、6~7月に実施した四日市製油所の法定定期修理を除き、上半期においてほぼフル稼働で推移
- 比較的付加価値の高い燃料油であるガソリン、灯油、軽油などの4油種国内販売数量は上半期を通じて業界平均を上回る実績を記録

事業概況 2013年1-6月－太陽電池事業

四半期別 モジュール出荷数量



地域別モジュール出荷数量



- 上半期のパネル出荷は前年同期比で大幅に増加。上半期半年間の合計出荷量は既に2011年度年間の出荷量を超え、2012年度年間の出荷量にも迫る勢い
- 販売は、中期経営アクションプランに基づき国内市場への販売を強力に推進。国内における顧客基盤および収益基盤の強化が進行
- 旗艦工場の国富工場は定期点検期間を除きフル稼働を維持。パネル一枚当たりの出力も向上し、年初には155W・160W品が主流であったものが、現在では165W・170W品が主流に
- W当たりのパネル生産コスト削減は年間▲20%の計画に基づき順調に進捗。グローバル市場における競争力確立に向けて着実にコスト低減が進捗
- 海外市場に向けた販売は、中長期的戦略視野から選択的に実施

2013年1-6月事業戦略の進捗（1）



石油事業 「国内No.1の収益体質となる」

中期経営アクションプラン	2013年1-6月に推進した戦略
オーガニック・グロース (既存事業の継続成長)	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 国内販売規模の維持 ■ 付加価値向上によるマージンの改善 ■ サプライチェーンを通じたコスト削減 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「Ponta」「Shell Easy Pay」などのリテール戦略推進により顧客基盤を拡大 ■ GTL*を原料とする合成油を基油とした長寿命・省エネ性能に優れた高付加価値潤滑油2種を発売 <small>*GTL：Gas-To-Liquids 天然ガスから合成した燃料</small> ■ コスト削減活動 <ul style="list-style-type: none"> - 2015年までに260億円の削減（2012年比） - 今期における削減額は少なくとも50億円を見込む
ステップ・チェンジ (事業構造改革による成長)	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 石油化学事業の拡大 ■ 他社との協業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 化成品増産に向けた製油所改修プランを検討 ■ 東燃ゼネラル石油株式会社と石油製品の供給相互最適化に向けて、一部取り組みを開始

(注) 当社は、基幹事業の効率化と収益力強化を「オーガニック・グロース」、また未来の成長に向かって経営資源を投入することを「ステップ・チェンジ」と定義しています。

2013年1-6月事業戦略の進捗（2）



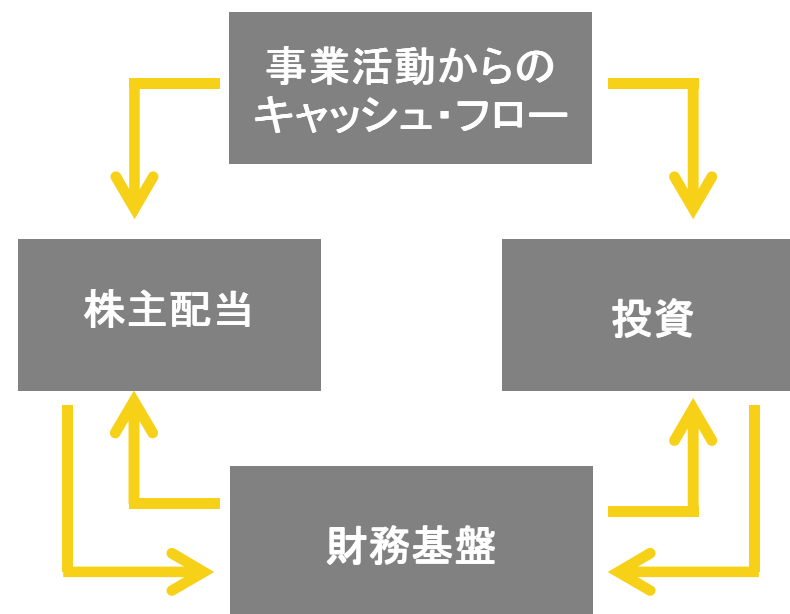
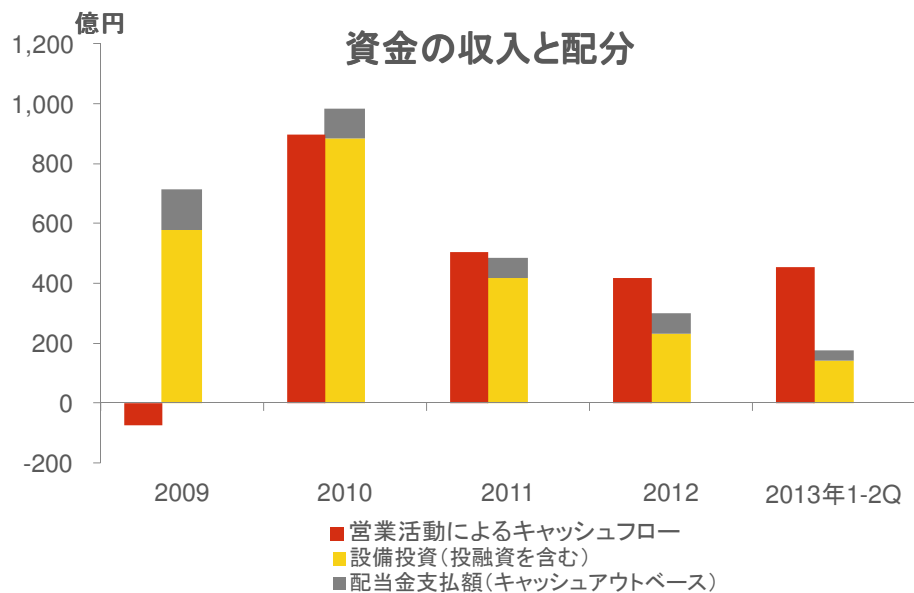
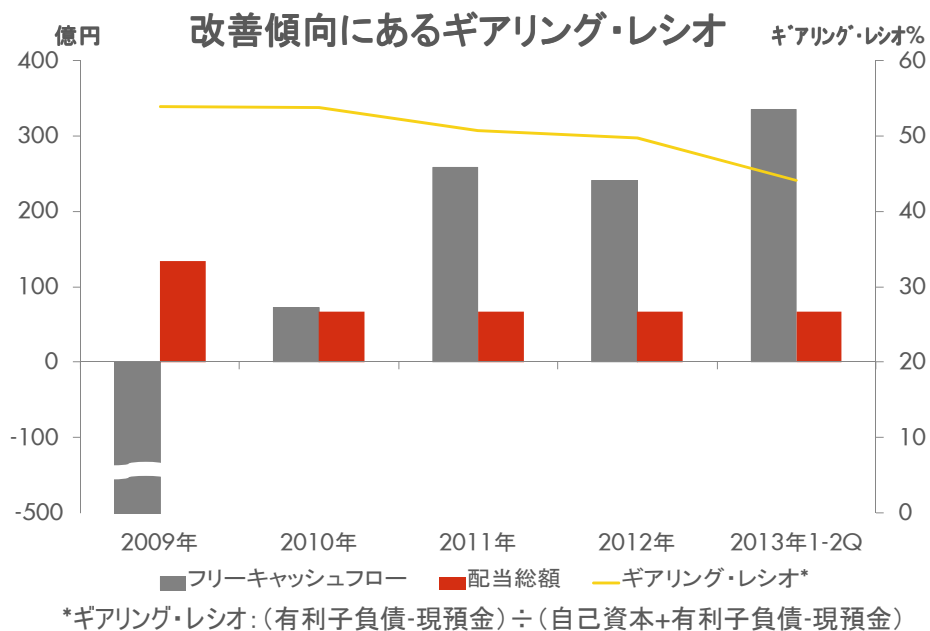
エネルギーソリューション事業

中期経営アクションプラン	2013年1-6月に推進した戦略
太陽電池事業 「グローバルリーダーとなる」	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 国内市場で勝ち組になる ■ 高付加価値ビジネスモデルの構築 ■ 将来の成長に向けた技術開発 ■ 世界市場への本格進出 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国内向けは向こう約1年にわたる受注残を抱えている状態 ■ 年間▲20%の生産コスト削減計画は順調に進捗 ■ 合計約16メガワット(MW)の「BOTモデル*」に基づくプロジェクトの実施を決定 (サントリーグループ、関西国際空港) ■ 国富工場で最高出力179.8Wの製品を記録 (モジュール変換効率14.6%) ■ 住宅市場をターゲットに新製品スリム・軽量パネル“Solacis neo”の発売を決定
電力事業 「事業規模および発電源メニューを拡大する」	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業規模を1ギガワット規模へ拡大 ■ 発電の電源を拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合計約47MWの太陽光発電所の新設を決定 (ユーエスパワーおよびCSDソーラー**) ■ 扇島パワー第3号機が着工 (第3号機の発電能力は約400MW)

*BOT=Build(建設), Operate(運営), Transfer(売却): 太陽光発電所を開発、建設、運営し、最終的に需要家に販売するビジネスモデル

**「ユーエスパワー」「CSDソーラー」は共にメガソーラープロジェクト推進を目的に本年設立した合弁会社

資金の配分



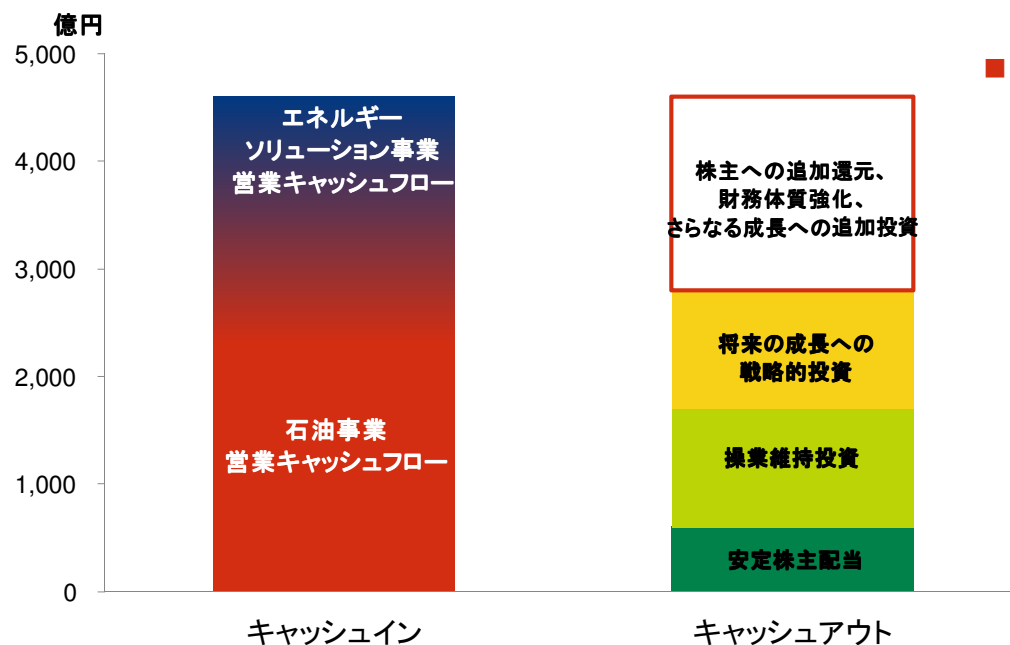
- バランス良く以下の領域へ資金配分を行う
 - ・ 将来への成長投資
 - ・ 強固な財務基盤と高い信用格付けの維持
 - ・ 安定的かつ魅力的な株主還元
- エネルギーソリューション事業の大幅改善により、連結ベースでのキャッシュフローは大幅に改善
- 有利子負債の返済によりギアリングは44%まで改善

株主還元

単位：円

	2012年	2013年
1株当たり年間配当金	18	36（予想）
（うち1株当たり中間配当金）	9	18

中期経営アクションプランにおける
5年間の営業キャッシュフローおよび資金配分計画



- 過年度に実施した大規模な太陽電池事業等への投資を経て、連結ベースのキャッシュフローは一定のレベルまで改善
- 中期経営アクションプランに基づく5カ年の営業キャッシュフロー予測において、戦略投資および過去の配当水準(36円/株)を継続するために必要な資金は十分に確保する計画



1株当たり年間配当は

18円から36円へ

(8月6日時点予想値)

平成25年12月期連結業績予想

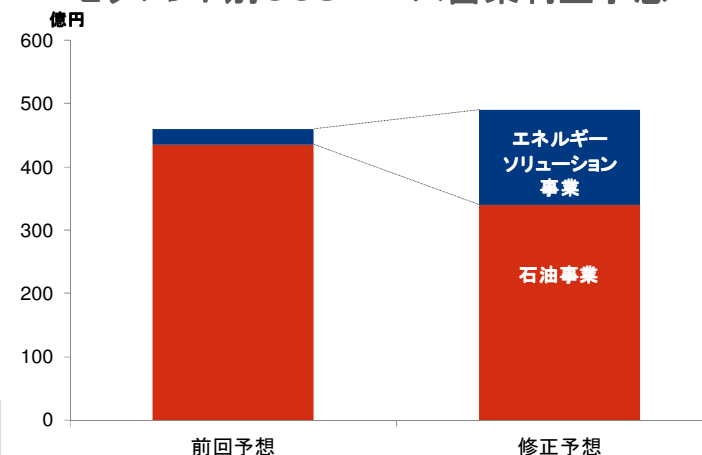
■ 原油価格および為替レート

		2013年度		修正値
		前回想定(2月)	今回想定	
ドバイ原油価格	(USD/バレル)	106	102	-4
為替レート	(円/USD)	84	95	11
	(円/EUR)	110	130	20

■ 連結業績予想

(百万円)	2013年度		修正値
	前回予想(2月)	今回修正予想	
売上高	2,710,000	2,880,000	170,000
営業利益	46,000	70,000	24,000
※在庫影響	0	21,000	21,000
※CCSベース営業利益	46,000	49,000	3,000
石油事業	43,500	34,000	-9,500
エネルギーソリューション事業	2,500	15,000	12,500
その他および調整額*	-	-	-
経常利益	45,000	70,000	25,000
※CCSベース経常利益	45,000	49,000	4,000
当期純利益	26,000	48,000	22,000

セグメント別CCSベース営業利益予想



< 下半期事業見通し修正の要因 >

■ 石油事業:

燃料油マージン改善、堅調な化成品事業収益、コスト削減活動等の収益への貢献

■ エネルギーソリューション事業:

堅調な電力事業収益、太陽電池事業における国内出荷拡大および更なるコスト低減による収益拡大

*「その他および調整額」の2013年度予想は、「石油事業」に含まれています。

ソーラーフロンティア新製品(2013年7月に発表)

- Solacis neoは、薄さと美しさがひとつになることで、かつてない高いデザイン性を持つ太陽光パネル

<薄さの比較>



屋根を美しく。空を美しく。

Solacis neo

(2013年11月から順次出荷)

- SFシリーズの中で最高の発電能力



SF170-S **NEW**

(2013年7月から順次出荷)

Data Book

決算ハイライト (1-6月)

■ 原油価格および為替レート

		2012年度 実績	2012年度 1-6月実績	2013年度 1-6月実績
ドバイ原油価格	(USD/バレル)	109.0	111.3	104.4
為替レート	(円/USD)	79.8	79.8	95.7
	(円/EUR)	102.6	103.5	125.6

■ 連結損益計算書ハイライト

(百万円)	2012年度 1-6月実績	2013年度 1-6月実績	増減	前年同期比(%)
売上高	1,310,887	1,415,903	105,015	+8.0%
営業利益	-10,875	43,255	54,130	-
営業外損益	-1,626	721	2,347	-
経常利益	-12,501	43,976	56,478	-
※在庫影響	-6,287	21,025	27,312	-
※CCSベース経常利益	-6,214	22,951	29,165	-
特別損益	1,109	2,726	1,616	+145.7%
当期純利益	-12,590	30,031	42,621	-

【注】カレント・コスト・オブ・サプライ(CCS)ベースの収益: たな卸資産の評価の影響を除いた原価を用いて算出する収益

セグメント情報 (1-6月)

■ 2013年1-6月

(百万円)	石油事業	エネルギー ソリューション事業	その他	調整額	合計
売上高	1,346,005	65,710	4,187	-	1,415,903
営業利益	37,821	4,812	628	-7	43,255

■ 2012年1-6月

(百万円)	石油事業	エネルギー ソリューション事業	その他	調整額	合計
売上高	1,276,871	29,416	4,599	-	1,310,887
営業利益	470	-12,041	722	-25	-10,875

- ・石油事業： 揮発油、ナフサ、灯油、軽油、重油、潤滑油、LPG、アスファルト、化成品等石油製品等の製造・販売
- ・エネルギーソリューション事業： 太陽電池モジュールの製造・販売及び電力の卸供給
- ・その他： 不動産、建設工事、自動車用品の販売及びリース業等

原油処理実績と販売数量実績 (1-6月)

■ 原油処理実績とグループ製油所稼働率

		2012年度 実績	2012年度 1-6月実績	2013年度 1-6月実績
原油処理実績	(千KL)	21,053	10,342	10,784
稼働率	(%)	91.6%	90.5%	94.9%

■ 製品別販売数量

(千KL)	2012年度 1-6月実績	2013年度 1-6月実績	前年同期比
揮発油	4,267	4,289	+ 0.5%
ジェット燃料	1,103	934	- 15.3%
灯油	1,537	1,503	- 2.2%
軽油	2,391	2,513	+ 5.1%
A重油	842	852	+ 1.2%
C重油	971	712	- 26.6%
その他	1,989	2,030	+ 2.1%
国内販売合計	13,099	12,833	- 2.0%
輸出	261	532	+ 103.7%
総合計	13,360	13,364	+ 0.0%

決算ハイライト (4-6月)

■ 原油価格および為替レート

		2012年度 実績	2012年度 4-6月実績	2013年度 4-6月実績
ドバイ原油価格	(USD/バレル)	109.0	106.2	100.8
為替レート	(円/USD)	79.8	80.2	98.8
	(円/EUR)	102.6	102.8	129.0

■ 連結損益計算書ハイライト

(百万円)	2012年度 4-6月実績	2013年度 4-6月実績	増減	前年同期比(%)
売上高	610,162	656,628	46,466	+7.6%
営業利益	-25,032	6,045	31,078	-
営業外損益	-1,652	1,378	3,031	-
経常利益	-26,685	7,424	34,110	-
※在庫影響	-16,320	2,366	18,686	-
※CCSベース経常利益	-10,365	5,058	15,423	-
特別損益	288	-126	-415	-
当期純利益	-18,881	5,420	24,301	-

【注】カレント・コスト・オブ・サプライ(CCS)ベースの収益: たな卸資産の評価の影響を除いた原価を用いて算出する収益

セグメント情報 (4-6月)

■ 2013年4-6月

(百万円)	石油事業	エネルギー ソリューション事業	その他	調整額	合計
売上高	625,804	28,709	2,114	-	656,628
営業利益	3,078	2,720	264	-16	6,045

■ 2012年4-6月

(百万円)	石油事業	エネルギー ソリューション事業	その他	調整額	合計
売上高	592,054	15,671	2,436	-	610,162
営業利益	-20,706	-4,648	334	-12	-25,032

- ・石油事業： 揮発油、ナフサ、灯油、軽油、重油、潤滑油、LPG、アスファルト、化成品等石油製品等の製造・販売
- ・エネルギーソリューション事業： 太陽電池モジュールの製造・販売及び電力の卸供給
- ・その他： 不動産、建設工事、自動車用品の販売及びリース業等

原油処理実績と販売数量実績 (4-6月)

■ 原油処理実績とグループ製油所稼働率

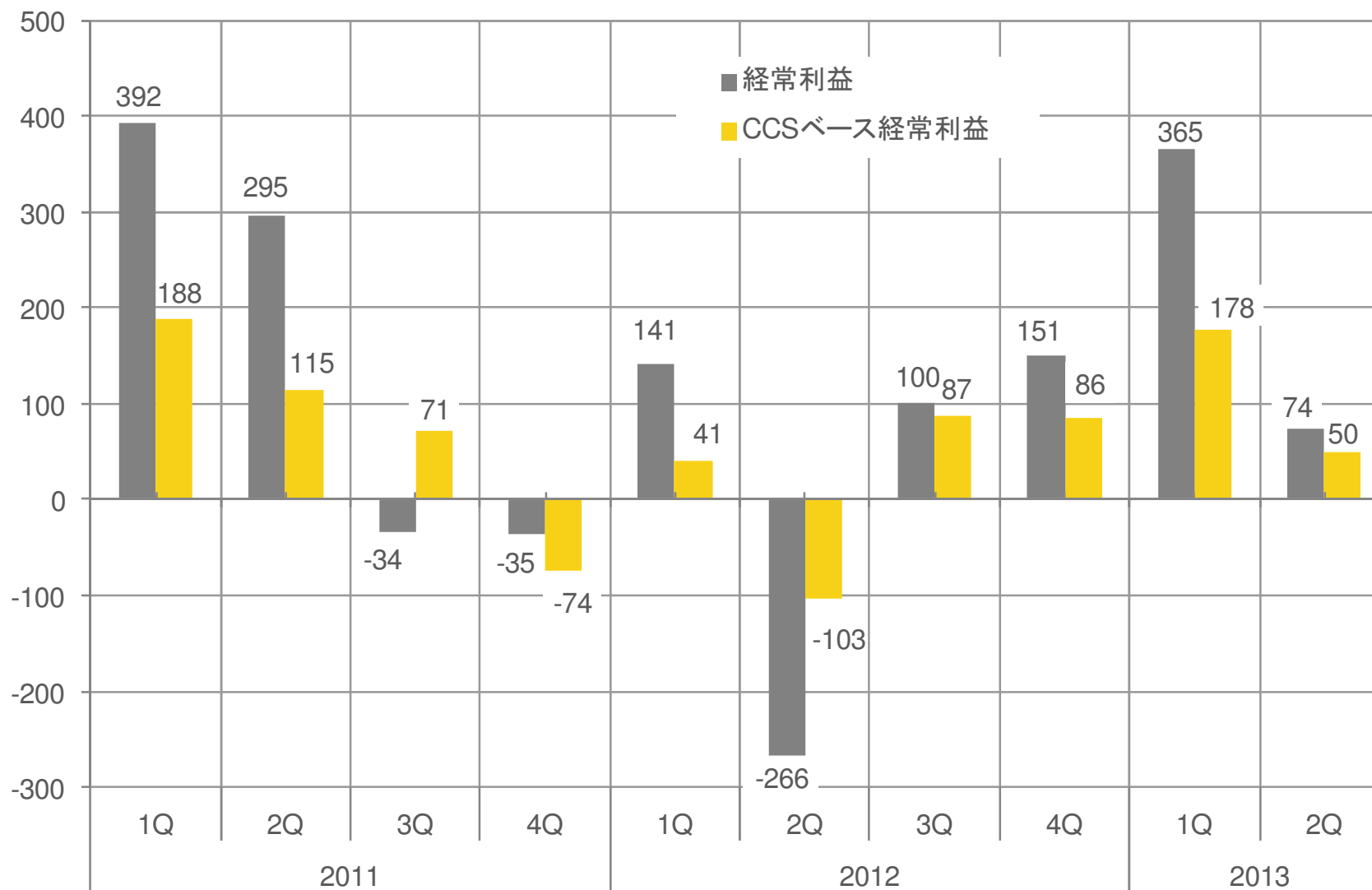
		2012年度 実績	2012年度 4-6月実績	2013年度 4-6月実績
原油処理実績	(千KL)	21,053	4,657	5,133
稼働率	(%)	91.6%	81.5%	89.8%

■ 製品別販売数量

(千KL)	2012年度 4-6月実績	2013年度 4-6月実績	前年同期比
揮発油	2,110	2,151	+ 1.9%
ジェット燃料	569	439	- 22.9%
灯油	312	322	+ 3.4%
軽油	1,176	1,259	+ 7.0%
A重油	310	346	+ 11.8%
C重油	488	280	- 42.5%
その他	876	959	+ 9.4%
国内販売合計	5,840	5,756	- 1.4%
輸出	51	231	+ 354.3%
総合計	5,891	5,987	+ 1.6%

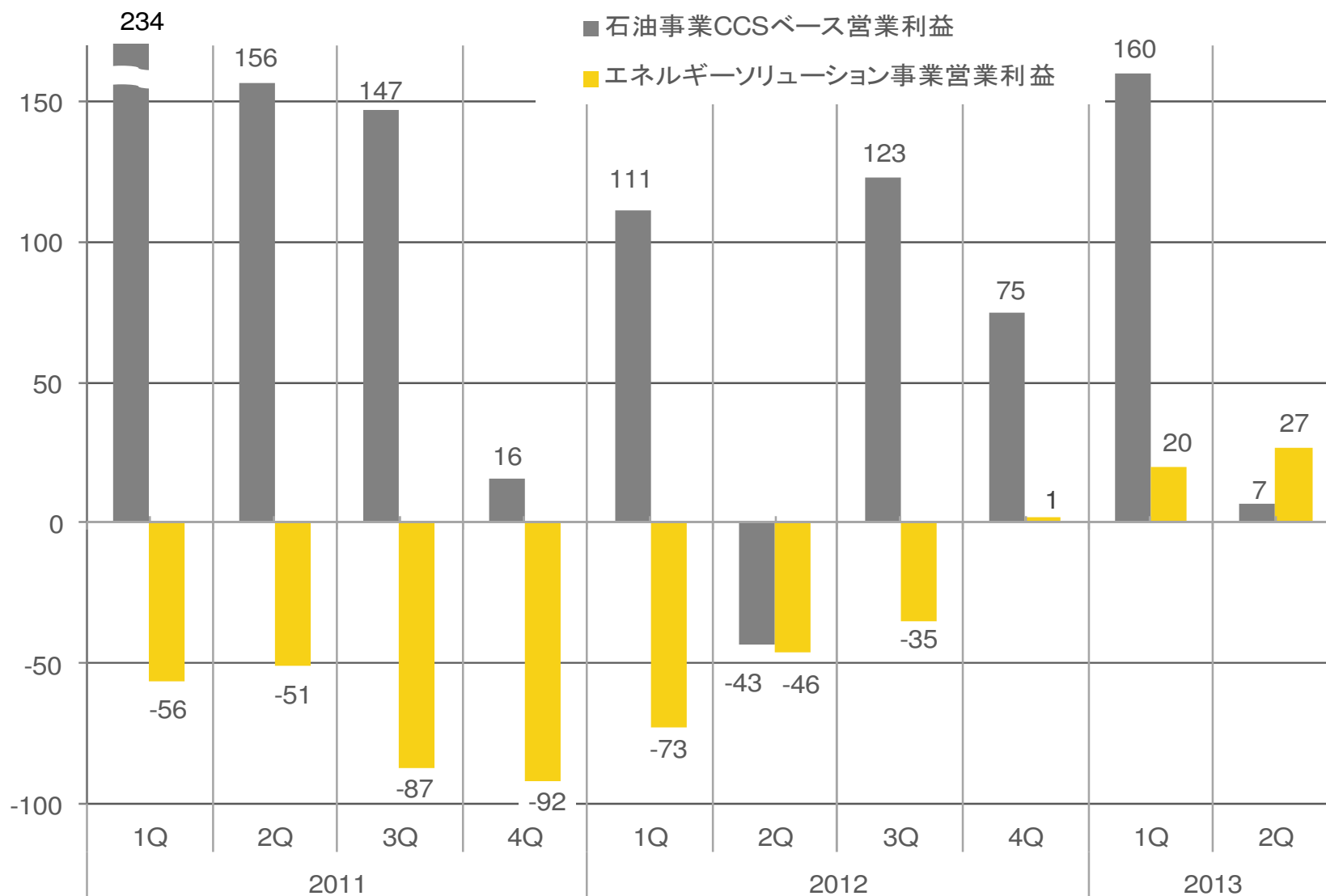
四半期別 経常利益の推移 (CCSベース)

億円



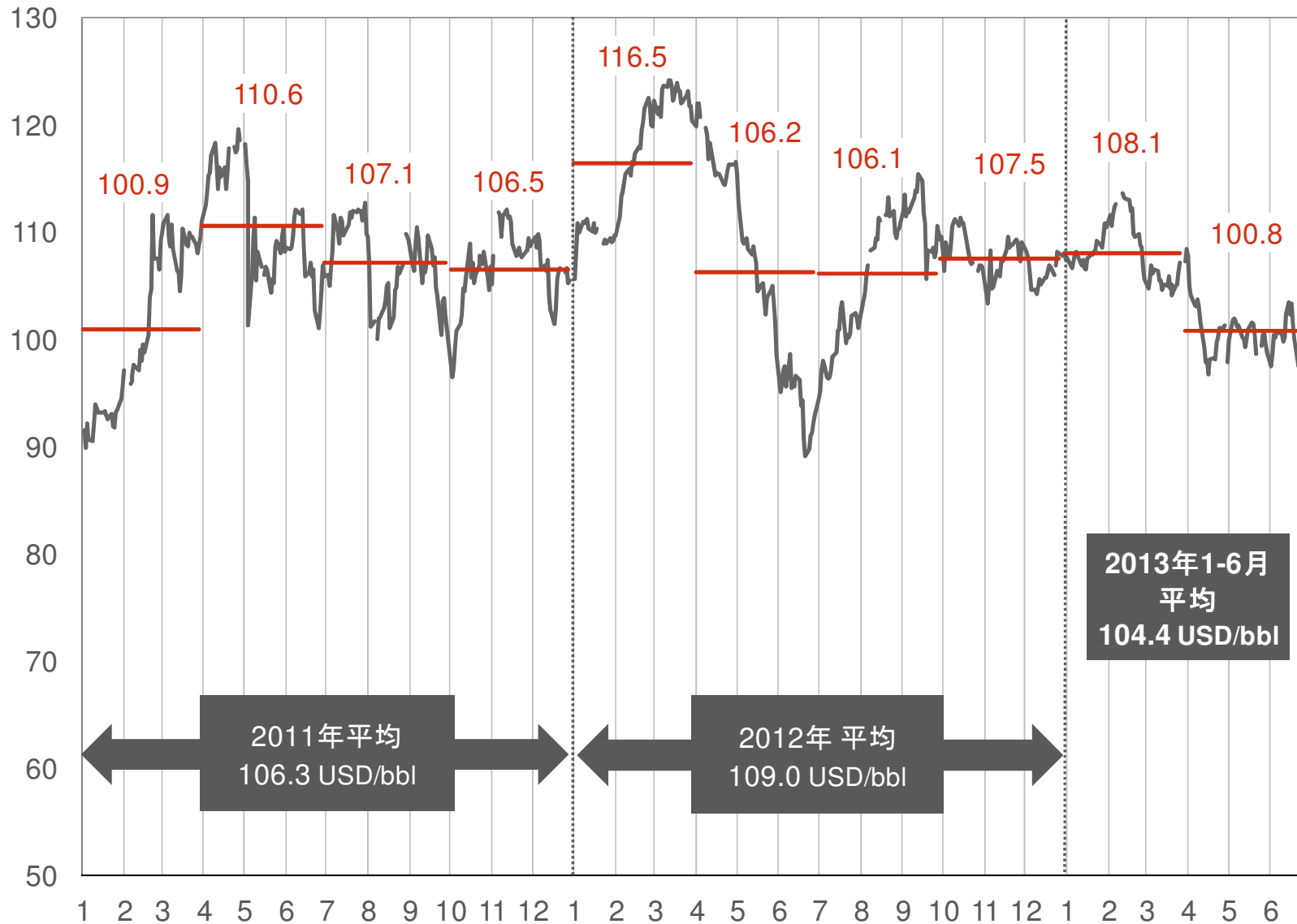
四半期別 セグメント別 営業利益の推移 (CCSベース)

億円



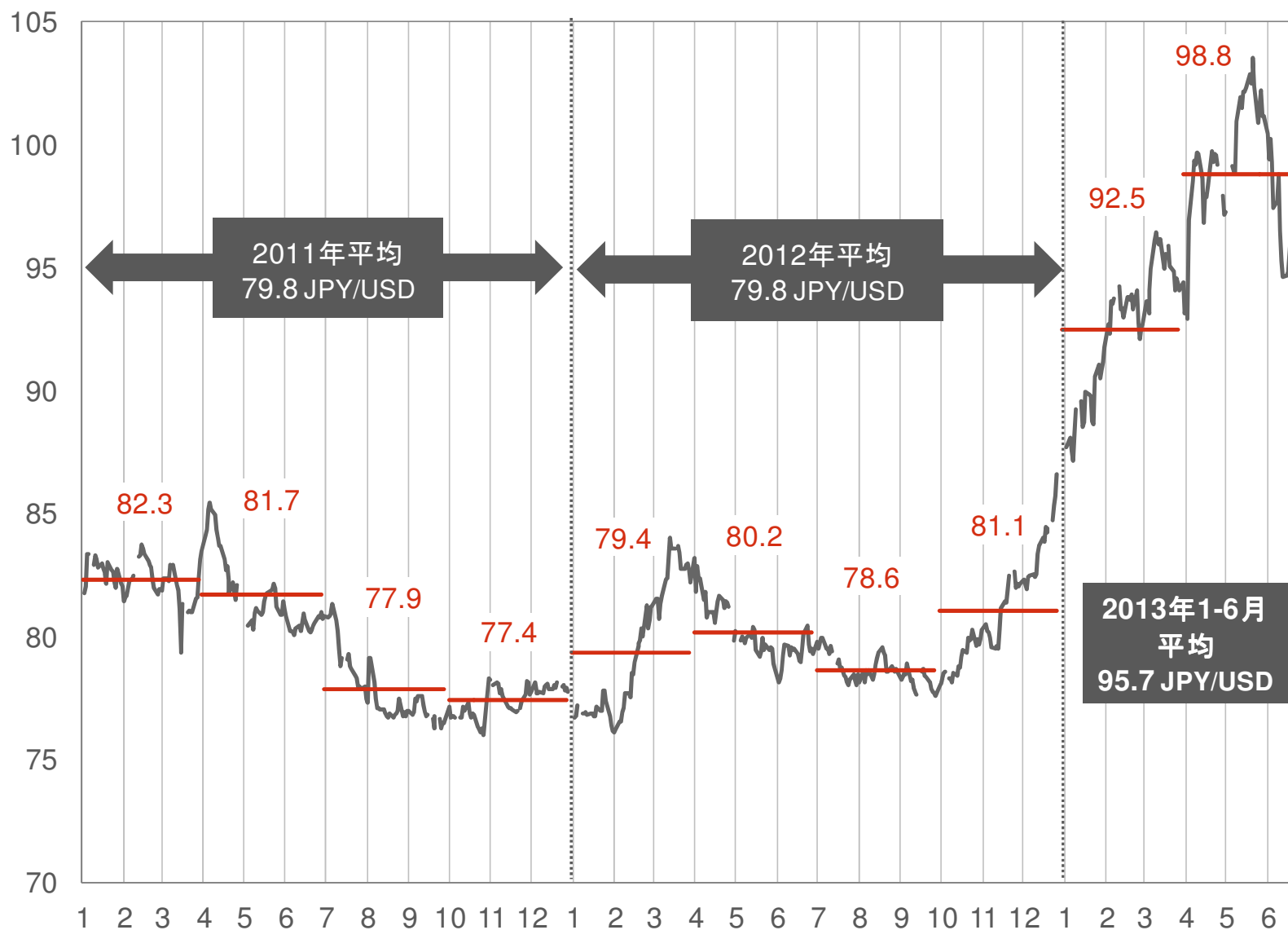
ドバイ原油価格の推移

(USD/bbl)



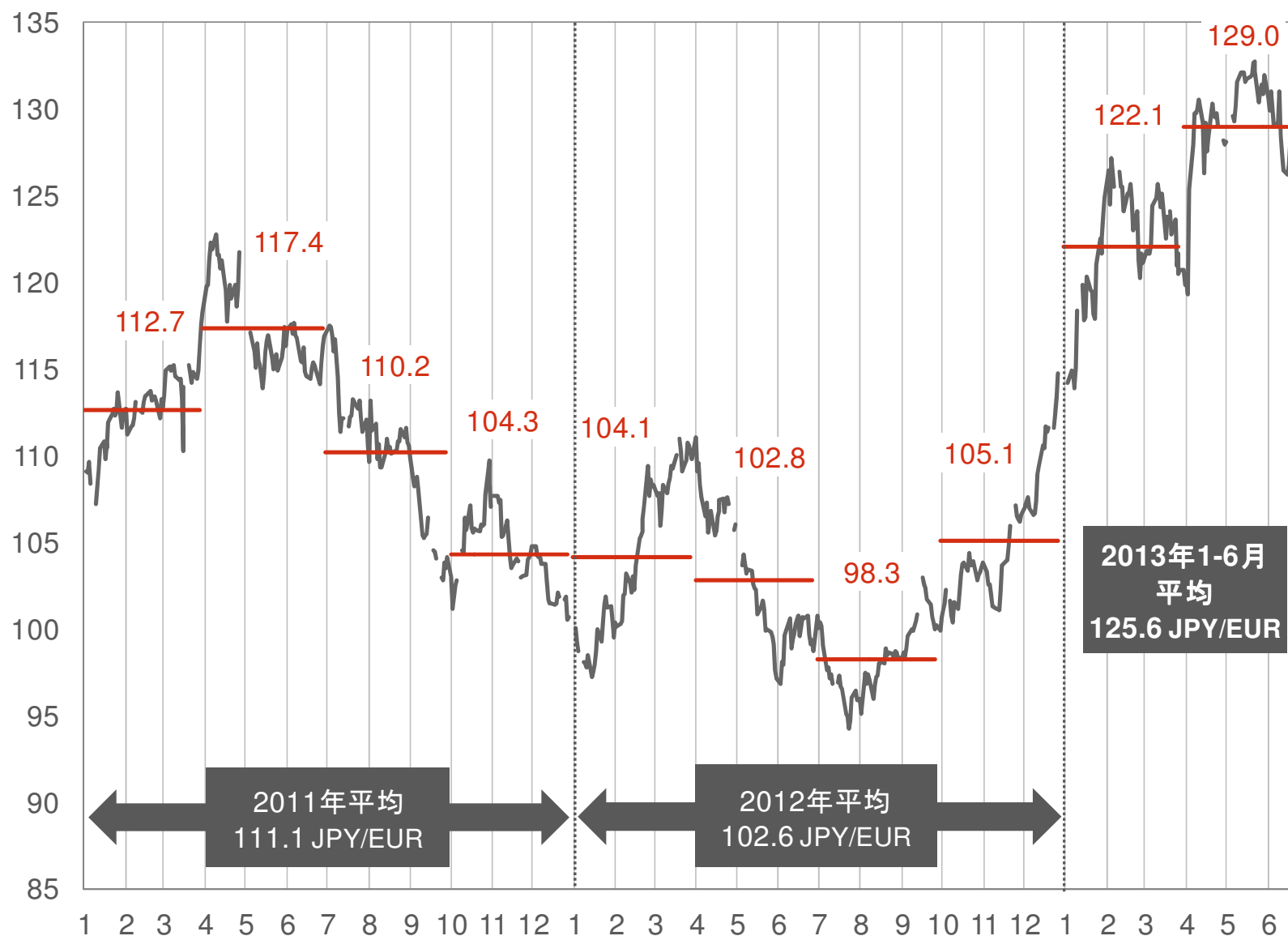
為替レートの推移 (円/アメリカドル 仲値)

(JPY/USD)



為替レートの推移 (円/ユーロ 仲値)

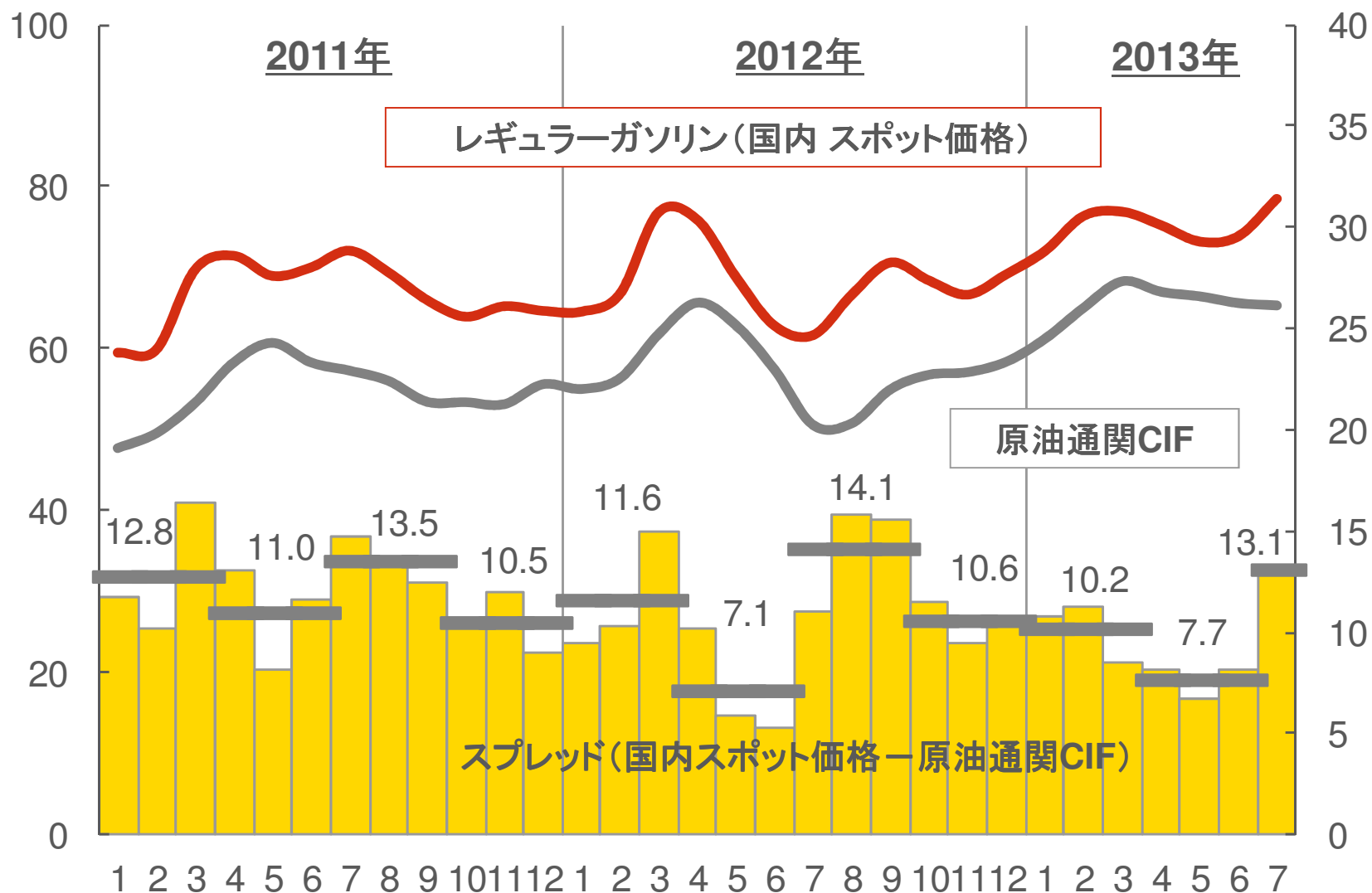
(JPY/EUR)



国内マーケットの状況① (ガソリン)

原油・製品価格 ¥/L

スプレッド ¥/L



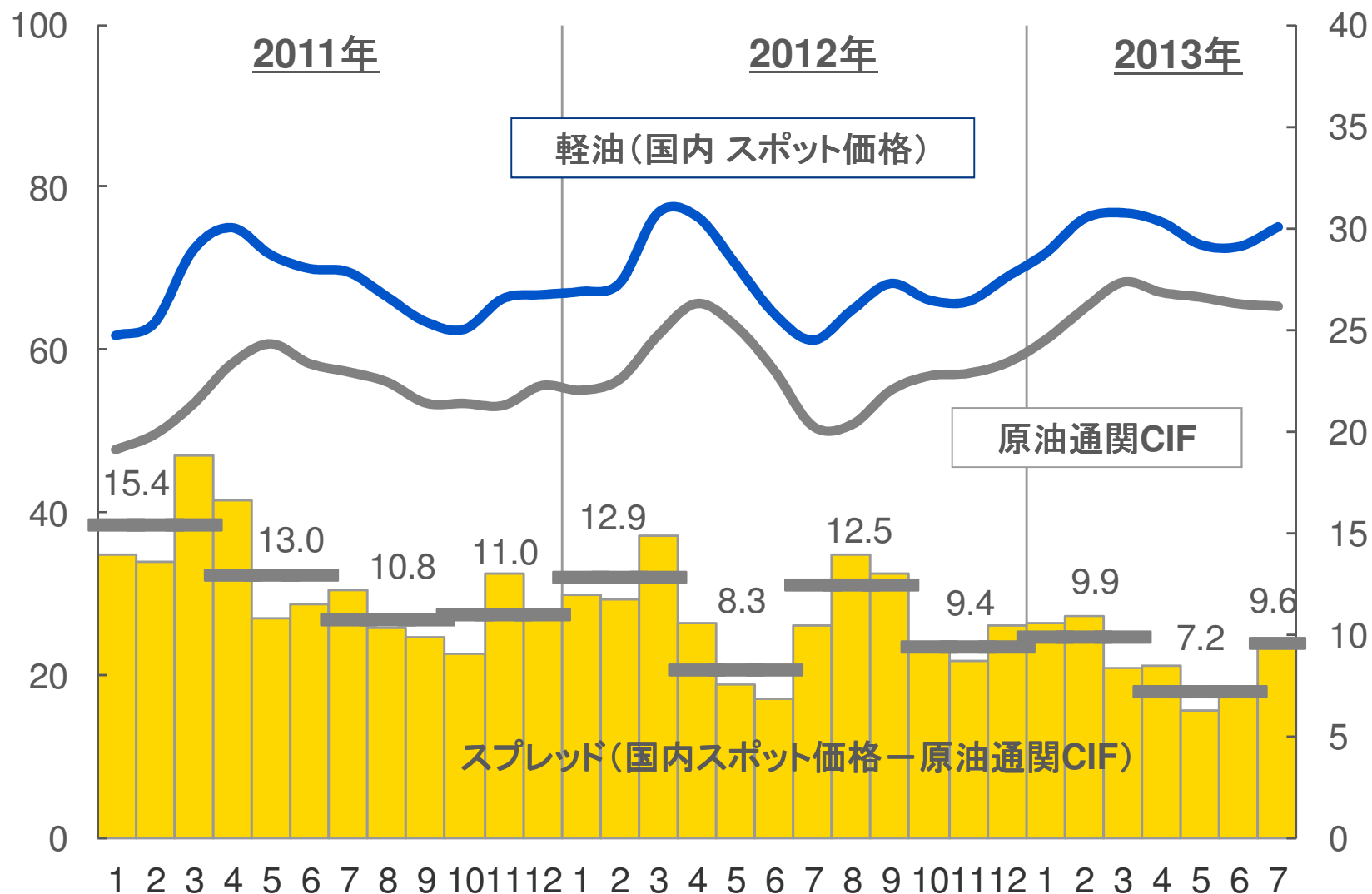
注記) 原油通関CIF: 財務省「貿易統計」より

※2013年7月の原油通関CIFは暫定値

国内マーケットの状況② (軽油)

原油・製品価格 ¥/L

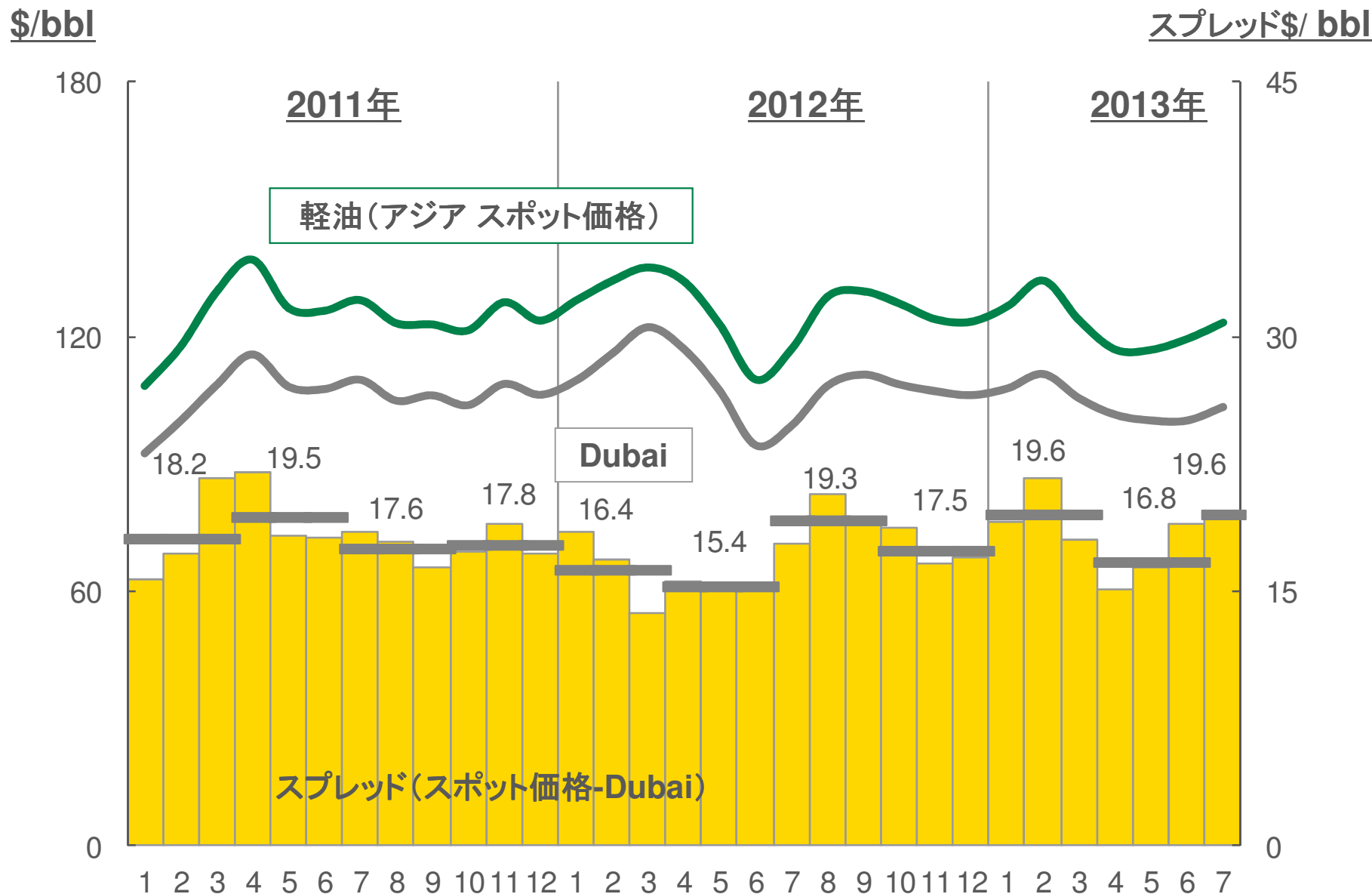
スプレッド ¥/L



注記) 原油通関CIF: 財務省「貿易統計」より

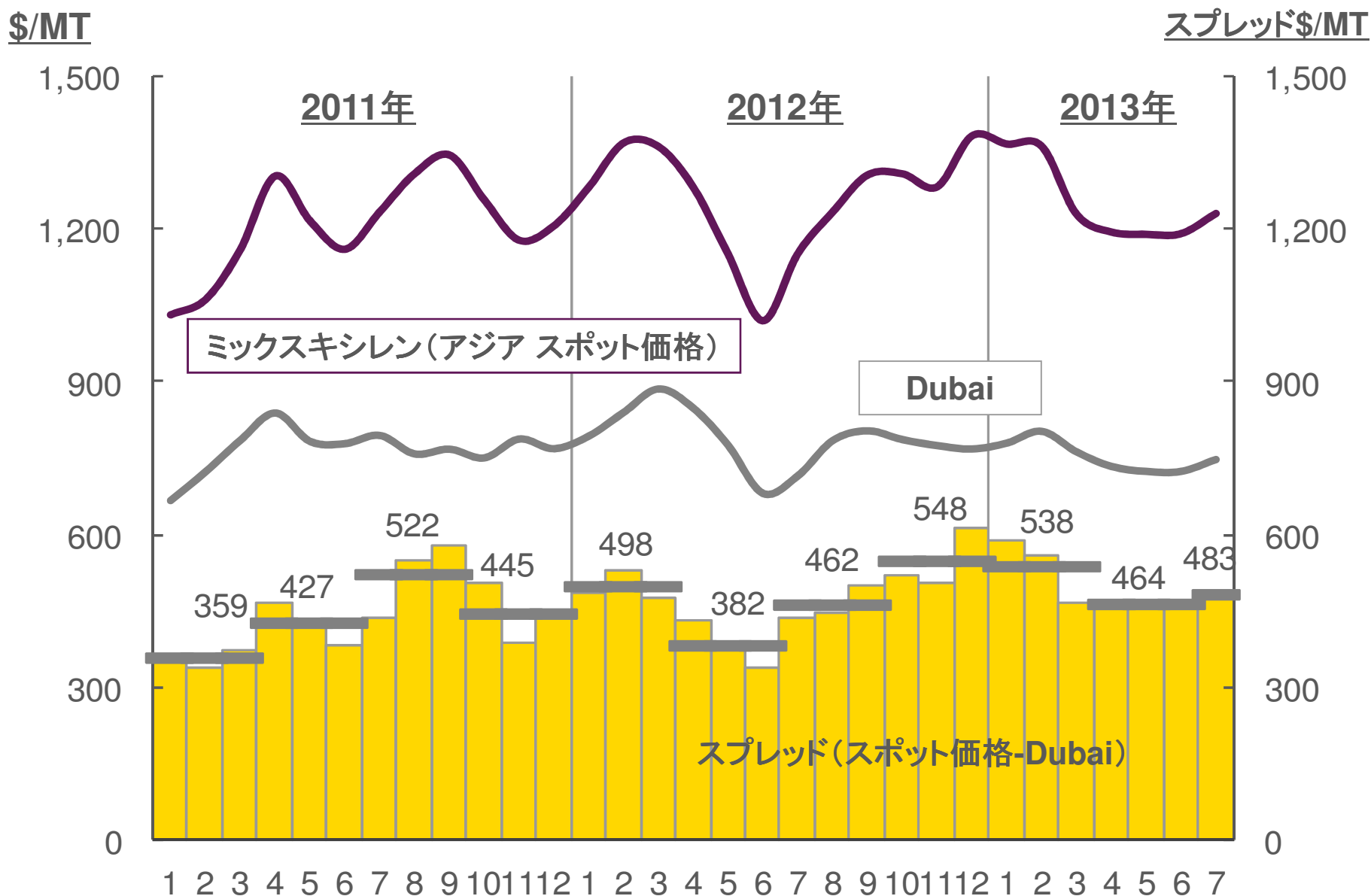
※2013年7月の原油通関CIFは暫定値

海外マーケットの状況① (軽油)



注記) Dubai: アジア向け中東産原油の基準となっているプラッツ社が発表するドバイ原油スポット価格

海外マーケットの状況②(ミックスキシレン)



注記) Dubai: アジア向け中東産原油の基準となっているプラッツ社が発表するドバイ原油スポット価格

